

かけはし

黄の2組
～ダイナミックワールド号～



▶ Central Idea

素材にはそれぞれ特性があり
人はそれを活用する

「秋のダイナミックワールド」において、黄の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

1学期から、ティッシュやお菓子の空き箱、牛乳パックや、容器などを組み合わせて工作をしたり、親子園外探究活動のお散歩バッグや運動会でのツバメダンスの演技でつかったりと、さまざまな身近な素材を遊びに取り入れてきた子どもたち。運動会後も「ツバメ」ブームで、歌をうたったり、ツバメにちなんだ工作をしたりしている子どもたちと、絵本『つばめくうこう』を読むと…「いろいろなお店があって楽しそう」「黄の2組も、お店屋さんをしたい!」「ゲームもあつたらいい」という声があがってきました。「これ、遊びに使える?」と、工作コーナーから様々な素材を探してきては、どんな素材を使ったらいいかと、試行錯誤しながらつくって…「お客さんに来てもらいたい」と、準備も盛り上がっています。

★身近な素材をリユース『つばめくうこう』フードコート①★

牛乳パックを連結させて遊んでいたことから始まった遊び。



くねくね曲がっておもしろい!

運動会の演技で使った1000mlの牛乳パック。お給食の牛乳パック250mlも集めて、遊びに使うことに。「つなげると電車みたい」と、牛乳パックにいろいろなものを入れて遊び始めました。



その頃、エアパッキンやトレイで、お寿司をつくって遊び始めていた子どもたち。「(牛乳パック電車でお寿司が運べる!)と、牛乳パック電車の仕組みを使って流れ寿司レーンをつくることに。



ひもで引っ張ったら、いいんじゃない?

「どんなレーンにしたら、うまくお寿司を運べるかな?」と、試したり改良したりして、「お客さんが来てくれたら、いいね」と開店準備中です。

★身近な素材をリサイクル『つばめくうこう』フードコート②★

「デザートをつくりたい」という思いから生まれた遊び。



チョコドーナツと、イチゴのドーナツがいいな

「お寿司屋さんって、デザートやジュースもあるよ」と、新聞紙やR1の容器を使ってデザートやジュースづくりが始まりました。



乾いたら、色もつけたらどう?

「ゼリーもつくりたい!」と、いう意見から、給食のゼリーカップを利用してつくってみることに。



新聞紙のほうがよく溶けるね!

櫻林先生に、ゼリーは寒天かゼラチンと、水でできていることを教えてもらい、水に溶かして固められる素材を探して実験中です。

★身近な素材をリユース『つばめくうこう』ゲームコーナー①★

運動会の演技で使うツバメの巣を新聞紙でつくっていたことから始まった遊び。



新聞紙って粘土みたい!

新聞や広告を使ってツバメの巣をつくっていたときに、残っていた新聞紙を丸めてボールに見立てていた子どもたち。



ミニ運動会で挑戦した玉入れのように、投げて遊び始めました。

新聞紙は形が自由に変えられるんだね!



広告や包装紙を再利用した飛行機もつくって、ゲームにすることに。的をどうしたら、楽しくなるかみんなで考えながら改良中です。

★身近な素材をリユース『つばめくうこう』ゲームコーナー②★

『つばめくうこう』がもっと楽しくなるようにしたいという意見から生まれた遊び。



『つばめくうこう』だから、飛行機があったら楽しいよね」という声。「みんなで乗れたらいいよね」と、いう意見も。



「段ボールが頑丈だから、青組さんみたいに段ボールがいいよ!」

青の2組さんに、『YGK エアライン』があると聞いて、遊びに行った子どもたち。「黄の2組の『つばめくうこう』にも、飛行機をつくらう!」と、段ボールを使ってつくり始めました。



★身近な素材をリメイク「たのしくエコ」★

さまざまな素材をリメイクして「たのしくエコ」したいという思いから生まれた遊び



さまざまな素材を使って『つばめくうこう』を準備している子どもたち。赤組の時のお店屋さんの経験から、アクセサリをつくりたいという声が出てきました。



様々な素材で遊んできましたが、まだ使っていない素材、ペットボトルでも「何かできないかな」と、保育者が聞かされると、「塗って飾りにする」「カラフルにしたらかわいい」という声。輪切りにして色をつけてみることに。



ママたちに、プレゼントできそう!

プレスレットができるかな?

他にも、きれいな和紙や包装紙をたくさんいただいたので、「たのしくエコ」できるよう、お財布やカバンをつくり始めています。